

レクビオ®皮下注 300mgシリンジ 投与ガイド



レクビオの投与にあたって

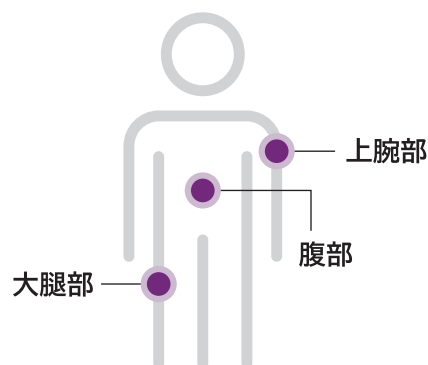
- ◆ 本剤の投与は必ず、医師・看護師等の医療従事者が行ってください。
- ◆ 本剤は1回投与分を充填したプレフィルドシリンジです。シリンジは1回のみ使用してください。
- ◆ 本剤は、室温で保存してください。
- ◆ 本剤は、無色～微黄色の澄明な液です。

レクビオの投与部位

- ◆ 本剤は、皮下にのみ投与してください。
- ◆ 注射が可能な部位は腹部、上腕部又は大腿部です。



サンバーン、皮疹、炎症、皮膚感染症等、活動性の皮膚疾患や損傷がある部位には注射しないでください。

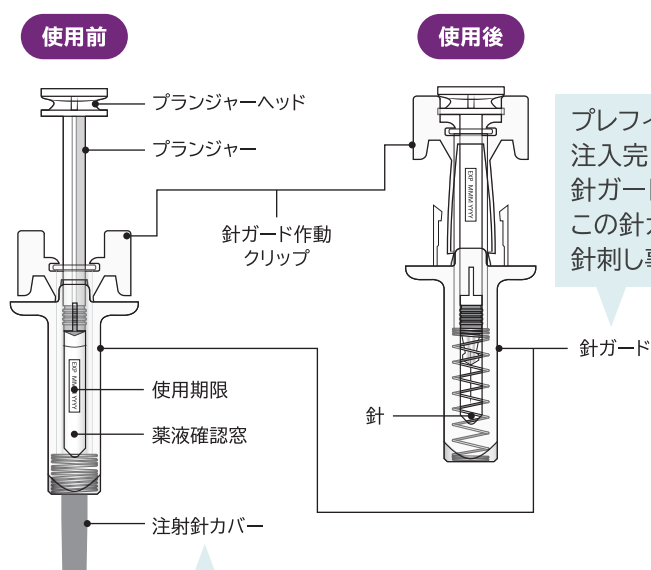


プレフィルドシリンジの構造及び名称



本剤を使用する前に、以下に記載された重要事項をご確認ください。

- ◆ 外箱やプラスチックトレイの封が破れている場合は、プレフィルドシリンジを使用しないでください。
- ◆ プレフィルドシリンジを硬い所に落とした場合や、注射針カバーを外した後に落とした場合は、使用しないでください。
- ◆ プレフィルドシリンジの再使用や分解はしないでください。



プレフィルドシリンジには、注入完了後に注射針を覆う針ガードがついています。この針ガードにより、注射後の針刺し事故を防ぎます。

注射の準備が整うまで注射針カバーを外さないでください。

レクビオの投与方法

1 プレフィルドシリンジを点検する

薬液中に気泡が見える場合がありますが、問題はありません。気泡を除去しようとししないでください。

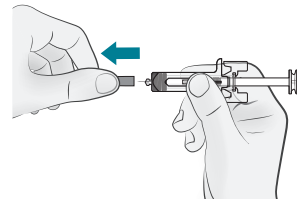
- ◆ プレフィルドシリンジが壊れていたり、薬液がプレフィルドシリンジから漏れたりしている場合は、使用しないでください。
- ◆ プレフィルドシリンジのラベル及び外箱に表示されている使用期限を過ぎている場合は、使用しないでください。

2 注射針カバーを外す

注射針カバーをしっかりと持ってまっすぐに引っ張り、プレフィルドシリンジから外します。

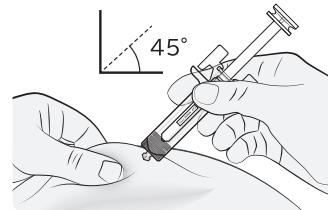
注射針の先に薬液の水滴が見えることがありますが、問題ありません。

注射針カバーは再使用せず、廃棄してください。



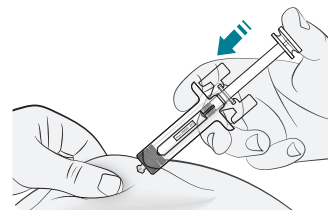
3 注射針を刺す

注射部位の皮膚を軽くつまみ、その状態を保ったまま、もう一方の手で注射針を約45度の角度で皮膚に刺しこんでください。



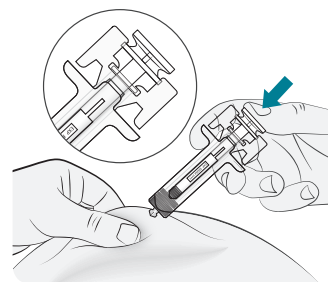
4 注入を開始する

注射部位の皮膚をつまんだまま、ゆっくりとプランジャーヘッドを押しきり、全量を注入します。



5 注入を完了する

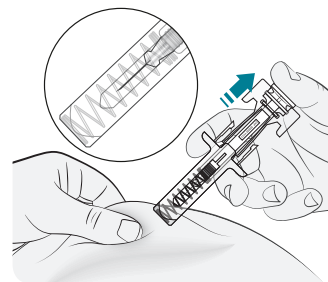
プランジャーヘッドが針ガード作動クリップの間に完全におさまったことを確認します。これにより針ガードが作動し、注入完了後に針を覆います。



6 プランジャーを離す

プレフィルドシリンジを注射部位に維持したまま、針ガードが注射針を覆うまでプランジャーをゆっくり離します。

注射部位からプレフィルドシリンジを抜きます。



7 シリンジを廃棄する

使用済みのシリンジは自治体の規制に従って廃棄してください。

製造販売（輸入）（文献請求先及び問い合わせ先）

ノバルティス ファーマ株式会社
東京都港区虎ノ門1-23-1 〒105-6333

ノバルティス ダイレクト 販売情報提供活動に関するご意見
TEL: 0120-003-293 TEL: 0120-907-026
受付時間: 月～金 9:00～17:30 (祝日及び当社休日を除く)

LEQ00001CI0001
2023年9月作成